

講義コード	20DRSh0202
講義名	地域文化学特論Ⅱ
講義開講時期	後期 2nd Half
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
研究科等	文化科学研究科
専攻・プログラム	地域文化学専攻
科目区分	アメリカ地域文化
授業を担当する教員	齋藤 晃
担当教員	
氏名	
齋藤 晃	

授業の概要

人類学前史／演習

今日、文化人類学・民族学として知られる科学の歴史的成立過程は、言語学や考古学、自然人類学などの関連諸科学と複雑に交錯しており、その詳細ははまだ十分に解明されていない。17・18世紀の啓蒙思想の発達や19・20世紀の西欧列強の帝国主義的拡張と連動していたことはたしかだが、具体的経緯は国や地域により異なり、全体像を把握することは容易ではない。しかし、文化人類学・民族学の成立過程は、さまざまな時代の人びとが、世界の諸民族の多様性の考察を通じて、人間とはいかなる存在なのかという問題に取り組んできた軌跡にほかならず、それ自体として究明に値する。本授業では、近年の重要な研究成果である著作のひとつを取り上げ、その精読を通じて、文化人類学・民族学の歴史的成立過程を理解する。

到達目標

- ・文化人類学・民族学の歴史的成立過程について、特定の視点からではあるが、説明できるようになる。
- ・18・19世紀のヨーロッパやアメリカの旅行者や科学者、思想家が、世界の諸民族の多様性について、どのような思索をめぐらせたかを、説明できるようになる。
- ・研究書や研究論文を批判的に読解できるようになる。

成績評価基準

	成績評価基準
成績評価基準	01:A,B,C,Dの4段階評価

成績評価方法

事前の文献読了（20%）、担当箇所の要約と批評（60%）、全員参加の議論における発言（20%）。なお、3回以上欠席した受講者には単位は与えない。

授業計画

授業担当教員：齋藤 晃

授業では「教科書・参考図書」欄で指定した文献を批判的に読解する。毎回、指定された箇所を受講者全員が事前に読了し、当日はひとりが内容を要約し、批評する。担当教員が解説したあと、受講者全員で議論する。

演習1. 第1章

演習2. 第2章

演習3. 第3章

演習4. 第4章

演習5. 第5章

演習6. 第6章

演習7. 第7章

演習8. 第8章

実施場所

国立民族学博物館大学院演習室

使用言語

日本語

教科書・参考図書

Han F. Vermeulen, "Before Boas: The Genesis of Ethnography and Ethnology in the German Enlightenment", University of Nebraska Press, 2015.

備考

受講には英語の高度な読解能力が必要である。